

冬休み明け朝会 校長からのお話し

令和3年1月6日

皆さん、明けましておめでとうございます。本日、皆さんが元気に登校してきたことをとてもうれしく思います。

今年の冬休みはどうでしたか。中野栄小学校の皆さんなら、きっといつも通りに、「挨拶」「あったか言葉」「役割」を心がけながら、楽しい冬休みを過ごすことができたと思います。

さて、年が明けて令和3年、西暦2021年を迎え、今日から2学期の後半が始まりました。一年の初めの節目なので、校長先生がいつも話している3つの大切な心について確認します。

1つ目は、「やさしい心」です。「やさしい心」は、人間ならば誰もが持っている心です。「行ってまいります。」「おはようございます。」「いただきます。」「ごちそうさまでした。」「さようなら。」などの「挨拶」や、「ありがとうございます。」「すごいね。」「だいじょうぶだよ。」「いっしょにがんばろうね。」など、相手を思いやる「あったか言葉」は、「やさしい心」を持っているからこそ使えるものです。やさしい心で助け合えば、誰とでも仲良くなれますね。

2つ目は「正しい心」です。「正しい心」も、人間ならば誰もが持っている心です。「ルールを守る」「弱いものをいたわる」「命や、ものを大切にする」など、「正しい心」で行動すれば、安全で楽しい生活ができるはずです。

3つめは「勇気」です。人間の心の中には、残念ながら「いばりたい」とか「やりたくない」とか「面倒くさい」という「少し悪い心」もあります。

時々それが出てきて「やさしい心」や「正しい心」のじゃまをすることがありますよね。自分の中の「悪い心」を退治するために使うのが「勇気」です。

今日も、朝から校長先生は、皆さんの気持ちの良い挨拶から、寒さが吹き飛ばすほどの元気をもらいました。

「やさしい心」と「正しい心」で勇気を持って活動する、中野栄小学校の皆さんの心のこもった「挨拶」「あったか言葉」「正しい活動」には、周りを明るく元気にする素晴らしい力があります。

そして、相手の心を傷つける「いじめ」は絶対に許してはいけません。

「優しい心」と「正しい心」で勇気をもって活動していれば、「いじめ」も絶対に起こらないし、この世からなくなるはずです。

このように、今年も皆で、「優しい心」と「正しい心」を持ち、「勇気をもって」行動していきましょう。そして、中野栄小学校を「やさしさと笑顔があふれる学校」に、中野栄地域を「やさしさと笑顔があふれる地域」にしていましょ

う。そんな皆さんを、中野栄小学校の先生方は、いつも全力で応援します。困ったときには、いつでも、どの先生にでもよいので、気軽に相談してください。

これからも中野栄小学校の皆で、一緒に頑張っていましょ

皆さん一人一人が、昨日より今日、今日より明日。去年より今年、今年より来年と、また少しずつ「やさしく」「強く」「かっこよく」なっていくことを期待しています。

さて、新型コロナウイルスにはまだまだ注意が必要です。そして、これからが冬本番の寒さとなります。6年生の皆さんにとっては卒業までの最後の数か月になりますね。マスクをつけ、三密を避け、こまめに手洗いをしながら、健康にも十分気をつけて元気に生活していきましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。